
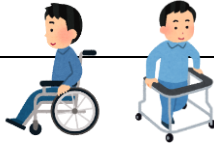







腰椎後方除圧手術を受けられる患者さんへ

患者ID	主治医	担当医
フリガナ 患者名	受持看護師	

	手術当日（帰室してから）	術後1日目	術後2日目	術後3～7日目	術後8～退院
目標	鎮痛剤を使用し、痛みをコントロールできる。 装具の必要性を理解でき、確実に装着することができる。 安静を守ることができる。		装具の必要性が理解でき、確実に装着することができる。 トイレで排泄することができる。 食事を自立して行うことができる。 座ることができる。	装具の必要性が理解でき、確実に装着することができる。 転倒なく歩行器で歩くことができる。 トイレで排泄することができる。 自分で更衣をすることができる。 座って装具の付け外しができる。	装具の必要性が理解でき、確実に装着することができる。 転倒なく杖で歩くことができる。 日常生活の注意点を理解して、生活が自立しておくれる。
治療処置			創には防水の絆創膏を貼っています。 創の所に入っている管を抜きます。	歩行開始翌日よりストッキング除去します。術後10日目頃に抜糸を行います。	
点滴内服薬	持続的に点滴をします。 	朝より、手術前に飲んでいた薬を再開して内服します。 点滴は夕方には終了します。			
検査	血液検査を行います。	血液検査を行います。		術後3,6日目に血液検査を行います。 術後4日目頃に下肢超音波検査を行います。 術後5日目頃にCT、レントゲン撮影を行います。	術後10日目に血液検査を行います。 術後8日目頃にMRI検査を行います。
リハビリ		ベッド上での訓練を開始します。 血栓予防や足の筋力を保つ訓練を病棟で行います。	日曜日・祭日のリハビリはお休みです。 個人で病棟で頑張らしましょう。 1日目にリハビリテーション部の応診し本格的に運動を開始します。(立つ練習、歩く練習)		
安静度	手術後はベッド上安静です。 ベットは30度まで上げることができます。 看護師の介助で横向きになれます。	装具を付けて90度までベッドを上げることができます。 装具を付けて状態に応じてトイレまで歩行できます。 点滴や血抜きの管に注意して下さい。	創の管が抜けたら装具を付けたままベッドに足を垂らして座ることができます。 状態に応じて車椅子に乗ったり歩行器で歩行ができます。		
食事	当日は食べ物は食べてはいけません。	朝、お腹の動きが良ければ(ガスが出れば)水分を摂ったり、食事ができます。			
清潔		看護師が体を拭きます。		術後3日目からシャワーを浴びることができます。看護師が座位着脱について指導を行います。	
排泄	手術室より、尿の管が入って帰ってきます。	排泄はベッドの上で行います。 コルセットをつけて移動ができるようになれば尿の管を抜き、トイレに行くことができます。			
説明	医師より手術についての説明があります。 痛みがある時は遠慮なく声をかけて下さい。			退院や転院の方向性について主治医からの説明があります。 退院や転院を考えて、日常生活動作や運動について説明します。 ・整容(髪をとかす・洗顔ができる・歯磨きができる・衣類を整える) ・トイレ動作が獲得できているか ・一人で移動ができるか ・装具が装着・脱着できるか ・転倒が予防できるか	
その他					退院おめでとうございます！